



田中技研株式会社 桑村工場

もっと詳しく知りたい方は…

○産業情報支援センター

TEL0897-53-0010 FAX0897-53-0011

Eメール info@saijo-sics.co.jp

サイクスのホームページもご覧ください。

http://www.saijo-sics.co.jp/

産業情報支援センターの運営組織である(株)西条産業情報支援センター(愛称:サイクス)の各種情報をお知らせします。

今月から、市内企業の所有する様々な技術をわかりやすくご紹介する「我が社の得意技」の連載をスタートします。



▲インタビューを受ける田中社長(左)

■**難削材に積極的なチャレンジ!**  
「他社の嫌がる多品種小ロットの難削材の仕事をする//その言葉から当社の金属加工部門は始まった」と田中技研の田中正夫社長は語る。操業間もない頃、金属の中で最も硬く、加工が極めて困難であったタンングステンのキリ穴加工の依頼があつた際、技術向上の糧になると受諾し、努力を積み重ねることによって見事成し遂げた。田中技研は、自社の所有する高い技術力を生かし、他社が行わない難易度の高い金属加工を行うことよつて成長したモノ作り企業だ。

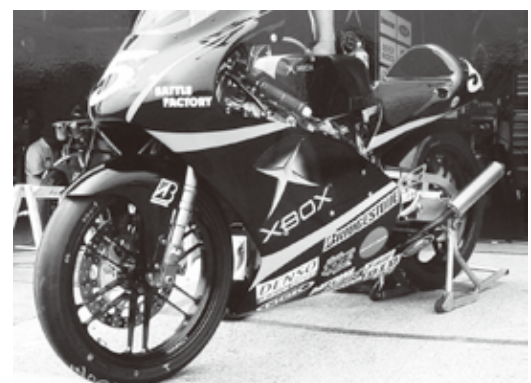
■**得意技はマグネシウム加工**  
マグネシウムは実用金属のうちで最も軽く(アルミニウムの3分の2の重さ)、完全無害でリサイクル可能な材料として期待されている。その反面、紛状になると空気と反応して燃えやすく、加工する際には安全面に配慮する必要がある。  
マグネシウムは、その軽量化が着目され、世界中の自動車メーカーが21世紀の材料として期待し、燃費改善のため必死になつて研究開発を行っている金属である。田中社長は、そのような自動車メーカーの動きに着目し、近い将来、マグネシウムが貴重な材料となることを予測し、いち早くマグネシウム加工への参入を決断した。

田中技研で製造するマグネシウム製品は、バイクホイール、バイク用ショックアブソーバー部品(ショックを吸収する部品)、腕時計、眼鏡フレーム、ゴルフパターなどがあつた。また、大手メーカーが製造する人間型ロボットの肘関節部品として納入した実績もある。これらの製品は軽いという特長もあり、製品としての性能は非常に優れている。例えば、マグネシウムで製造した自動車のタイヤフレームは、軽量であるため遠心力が小さくコーナーリングに優れている。しかし、加工が難しいこともあり、製品自体が非常に高価であり、一般に普及するにはまだまだ長期間を要するものである。田中技研のマグネシウム技術の高さは、いずれ訪れるであろうマグネシウム時代に対する先行投資と言えるだろう。

### マグネシウムを加工した製品

(写真右) ゴルフパターのヘッド

(写真下) バイクのホイール



■**地域に雇用の場を創出する**  
田中社長は、地域に雇用の場を創出したいという思いが強い。地元での雇用チャンスを増やしたい思いで努力を重ね、現在では4つの工場を稼働させている。田中社長のマグネシウム加工への挑戦は、地域に一層の雇用の場を創出することに対するチャレンジでもある。  
(レポーター…産業情報支援センター 技術相談室 チーフアドバイザー 林)

我が社の得意技 ①  
金属加工で優れた技術を発揮  
田中技研株式会社 (旦之上)